

保育園のねらい
相手の思いを聞きながら、自分の気持ちを伝えようとする。
カリキュラム No. 31 …やさしい子ども…

おもいやい、親切

12月




～おはなしタイム「はしのうえのおおかみ」～

宮野目保育園・宮野目小学校

☆ 接続期の状況(12月) ☆

- 生活発表会に向けて友だちと力を合わせて取り組んだり、集中して最後までやり遂げる達成感を味わい、自信をもって生活したりする姿が見られる。
- 自信をもって思いを表すことができるようになった反面、話を聞く場面で最後まで聞かずに自分の話を始めてしまう園児もいる。

☆ 経過 (宮野目小学校教諭による実践) ☆

活動の流れ	園児の姿 (○)	指導者の支援 (◎)・環境
1 指導者の自己紹介 2 流れの確認 3 「森のくまさん」を歌う。 	○元気で挨拶や返事をする。 ○おおまかな活動の流れを知る。 ○教師の伴奏に合わせて、元気に歌う。	◎園児の緊張をほぐすよう、明るくさわやかに接する。 ◎曲の前半部分は、輪唱形式になっているので「おいかけっこ」するように歌うことを呼びかける。後半部分については、指導者の歌い方を真似ながら覚えていくようにする。
4 「はしのうえのおおかみ」の話を聴く。 	○橋の上でおおかみに通せんぼされてしまうきつねの気持ちを考え、話し合う。 ○くまに出会ったおおかみの気持ちを考え、話し合う。 ○くまが意地悪せず、おおかみを通してあげたときのおおかみの気持ちを考え、話し合う。 ○おおかみの気持ちがなぜ変わったのかみんな考えてみる。 	◎挿絵を用意し、話の内容が伝わるようにする。 ◎興味をもつように、「さっき歌ったくまさんが出てくるお話だ」ということを知らせる。 ◎動物たちの気持ちに共感できている園児をとりあげ、ほめる。 ◎おおかみにとって、くまが怖い存在であることを理解できない場合は説明を加える。 ◎くまの優しい行動がおおかみの心の変容につながったことに気付くことができるように、「なぜ、おおかみがやさしくなったのでしょうか。」と問いかける。 ◎最後までお話を聞いた子、動物たちの気持ちを考えることができたことをほめる。
5 「動物園へ行こう」ゲームをする。	○動物の名前の数だけ、友だちを集めるゲームであることを知る。	◎文字や数量に関心をもつように、くま→2文字→「2」、きりん→3文字→「3」、しまうま→4文字→「4」ということに軽く触れる。
6 終わりのあいさつをする。	○今日の活動について簡単に振り返り、楽しかったことを発表する。	・今日頑張ったことをとりあげ、ほめてまとめる。

☆ 考 察 ☆

小学校の道徳で扱っているお話を聴き、登場人物の気持ちを考えることを中心に活動を展開した。園児は、登場人物の心情を話の内容や挿絵から読み取ろうとしていた。全員が発言できたわけではないので、ねらいに迫るための発問をもっと研究していかなければならない。

4月からの学校生活を意識する機会になればと思い、音楽、お話、室内ゲームという3つの活動で組み立てた。集中力が続かない園児も何人かいたが、15分程度のモジュールで構成したことが、この時期の園児にとってちょうど良い活動時間、内容であったと考えている。ゲームでは、数的な思考を促すことも取り入れてみたが、園児は興味をもって答えていた。

園児は、この体験により少し小学校気分を味わい、これからの生活や学習に期待をもつことができた。